

平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティアバスパック

日 程 : 平成 30 年 7 月 22 日 (日) 23:00~24 日 (火) 4:00

参加者 30 名 (別添名簿参照) 17 歳から 75 歳まで参加 男 24/女 6

■内訳 一般 18・市町村社協 8・県社協 4

■市町村分け (カッコ内社協職員数) ※県社協 4 名除く

- ・青木村 1 名・安曇野市 1 名・阿南町 1 名 (1)・飯山市 1 名 (1)・上田市 3 名 (2)
- ・大桑村 1 名 (1)・佐久市 1 名 (1)・須坂市 2 名・立科町 1 名・千曲市 1 名
- ・長野市 8 名 (1)・富士見町 2 名 (1)・松本市 2 名・箕輪町 1 名

行程

■7/22 (日)

22:30 受付

23:00 県社協発 (参加者 18 名・事務局 4 名乗車)

■7/23 (月)

00:00 安曇野スイス村 着 (参加者 3 名乗車)

00:50 駒ヶ岳 SA 休憩

01:35 飯田 IC 伊賀良バス停 着 (参加者 4 名乗車)

02:20 恵那峡 SA 着 (参加者 1 名乗車)

04:40 大津 SA 休憩

06:00 三木 SA 休憩

07:10 瀬戸 SA 朝食・着替休憩

08:00 瀬戸 SA 発

~~~ 活動に関するオリエンテーション ~~~

08:20 吉備 SA 給油

08:40 倉敷市災害 VC 本部 着

09:00 ボランティア受付

団体受付不可 (当日判明) のため、参加者個人受付経由で活動へ (5 名 1 チーム)

14:30 倉敷市災害 VC 本部へ随時帰着

~~~ 参加者本部で休憩 ~~~

16:00 バス乗車

~~~ 参加者自己紹介と活動の振り返り ~~~

16:30 満天の湯 入浴・夕食・お土産購入時間

19:00 満天の湯 発

~~~ 途中、適宜 SA で休憩 ~~~

■7/24 (火) ※携帯電源切れのため、休憩 SA 等時間記録なし

00:30 恵那峡 SA 着 (参加者 1 名下車)

01:00 飯田 IC 伊賀良バス停 着 (参加者 4 名下車)

03:00 安曇野スイス村 着 (参加者 3 名下車)

04:00 県社協 着 (参加者 18 名下車)

## ○倉敷市災害ボランティアセンター ～活動までの流れ～

### 《受付・オリエンテーション》

名札記入→受付→待機→チーム編成(5名)→オリエンテーション→資材準備  
→災害VC手配バス乗車→サテライト着→受付・オリエンテーション→活動先へ

### 《活動内容》

土砂撤去、家屋内片付け、震災ゴミ搬送、救護班対応(医療・救護経験者1名)

※熱中症対策のため 20分活動 10分休憩ローテーション

### 《活動時間》

10:00頃 サテライトオリエンテーション終了後

13:30 活動終了(昼食は活動先で)

## ○参加者の声(主なもの)

- ・活動に参加し、現地で見たこと、現地の暮らしなどを伝えていくことが参加者の役割だと感じている。
- ・ぜひ県内多くの方に参加してほしい。今後も継続してほしい。
- ・社協の方々が一緒に活動したことは非常に嬉しい。
- ・「なにかできることはないか」の想いを持っていたタイミングでの企画だった。
- ・依頼者からの「ありがとう」が励みになった。また機会があれば参加したい。
- ・自分の地域と照らし合わせても、今回の災害が地元でもあり得ることだと感じている。日頃の備えも地域で行いたい。
- ・社協として参加し、今後ボラバス企画のイメージができた。できることをやっていきたい。
- ・災害VCを初めて経験した。この経験を地元社協で活かしたい。

## ○特記事項

- ・弾丸ツアーだったため、疲れも非常にあったが、活動から帰ってきた参加者の顔がとてもいい顔だったのが印象的。
- ・17歳から75歳までの参加者がいたため、熱中症などの体調・健康管理を懸念したが、災害VCでのオリエンテーションでも丁寧な説明があり、活動者も各自留意して活動をおこなっていた模様。
- ・災害VCからの事前の情報と当日の情報に齟齬があり、団体での活動ができなかったことは反省だが、参加者は全国から駆け付けたボランティアとコミュニケーションをとりながら活動に参加していた。
- ・ボラバスコーディネーターは、全行程で気を使う必要があり、非常に神経を使う経験だった。市町村社協でボラバスコーディネーターを実施した方々の大変さを経験したことで、今後の情報提供などに活かされると感じている。
- ・まだまだ災害VCへのニーズに対応しきれていない状況がある。現地での活動を通じてホームページでの情報発信をおこないたい。